

クイズ!むかしのくらし-その1-

にっこうかいどう 日光街道
しゆくば ぞいの宿場だった **せんじゆ** 千住 には、
しょうか 商家がたくさんあった。

日光街道は、江戸時代につくられた、江戸と日光を、むすぶ長い長い通りのこと。

のうか す 農家の住まいには広い **ひろ** **どま** 土間 があり、
さぎょうば 作業場として **べんり** **つか** 便利に使っていた。

そこには板ばりの「勝手」という場所があって、ここでご飯をたべていたみたい。



むかし 昔の足立区は **あだちく** 水田が多く、
すいでん 1955年 ねん ごろまでは
また **昭和** 30年 **おお**
とうきょう 東京の米どころとして **ゆうめい** 有名だった。

だんだん家や道路がふえて、田んぼや畑がへっていった。

せまい土地を上手に使うために、だんだん米作りから野菜作りにかえていったらしい。

いま せんじゆかわらちょう せんじゆなちちょう
今の千住河原町や千住仲町のあたりには
とんや 数多く **かず** **おお** **た** 立ちならび、「**せんじゆ** 千住の **やっ** **ち** **や** **場**」と
おお **しょうにん** よばれて多くの商人たちでにぎわった。

足立区は都心に近いので、新せんな野菜や産業の材料や製品を運ぶのに便利!

クイズ!むかしのくらし-その2-

^{とうじ}冬至には、かぼち^たゃを食べて、
^{びょうき}病気になるようにいのる。

平和でおだやかなくらしを願って、
一年を通して様々な祭りが行われていた。

「じんがんなわ」でかざられる
^{おお}大きなへび^{ざいりょう}の材料は、ワラ

へびの力で地域のわざわいを取りのぞいて、
農作物がたくさん収穫できるようにいのる伝統行事。



^{はなはたおとりじんじゃ}花畑大鷲神社や、^{しかはまちく}鹿浜地区で
^{おこな}行われる^{ししまい}獅子舞では、
3 ^{しし}びきの獅子^まが舞いおどる。

足立では、獅子舞やお祭りを

にぎやかにする「祭りばやし」の活動がさかんらしい!

クイズ!あだちのあゆみ-その1-

じょうもんじだい
縄文時代なかの中ごろまで
あだちく
足立区は海うみのそこにあった。

郷土博物館の資料で
一番古いものは、
クジラの骨らしい!

へいあんじだい
平安時代おの終わりごろ、むさしのくに武蔵国あだち足立ぐん郡では
あだちしいちぞく
足立氏一族だいかつやくが大活躍していた。

足立遠元は仕えていた源頼朝に働きをみとめられて、
鎌倉幕府の重要な役人になった人。

せんごくじだい
戦国時代ちばこれたねに千葉自胤がおさめていた
ふちえごう
淵江郷ちゅうしんの中心には、ふちえ淵江じょう城と
しろ
よばれる城があった。

お城の存在は江戸時代には伝説となっていたけれど、
1996年に城が建っていた証拠が見つかったみたい。

クイズ! あだちのあゆみ-その2-

えどじだい とくがわいえやす めい
江戸時代に、徳川家康に命じられて

すみだ がわ さいしょ はし せんじゅおおはし
隅田川の最初の橋として千住大橋がかけられた。

大名行列や旅人などたくさんの人が行き交うようになり交通の要所になった。

えどじだい まつおぼしょう はいく つく たび
江戸時代、松尾芭蕉は俳句を作る旅に出る。

しゅっぱつち せんじゅ
出発地の千住で、

ゆくはる とり うお め
「行春や鳥なき魚の目はなみだ」をよんだ。

この俳句の旅をまとめた本が「おくの細道」

この時つけられた地名は、今の足立区の地名やバス停の名前にも残っている!

えどじだい あだちく とうぶ ひろ
江戸時代、足立区の東部に広がっていた

しっち うつ す ひとびと かいほつ
湿地に移り住んできた人々が開発して

う むら しんでん
生まれた村を、新田とよんだ。

えどじだい お めいじじだい
江戸時代の終わりから明治時代のはじめにかけて

かつやく しんせんぐみ あだちく あやせ きち
活躍した新撰組は、足立区の綾瀬に基地を

つく
作っていた。

隊長の近藤勇と、副長の土方歳三も来ていたらしい!

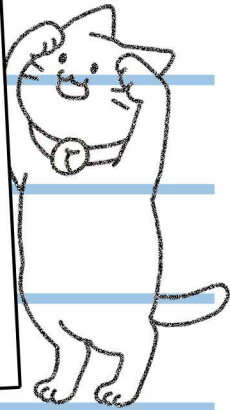
クイズ!あだちのあゆみ-その3-

とうきょうふあだちぐん
東京府南足立郡とよばれていた足立区は、

ねん 1932年にとうきょうしあだちく 東京市足立区になって、

ねん 1943年にとうきょうとあだちく 東京都足立区になった。
または昭和18年

あだちく



昭和時代に足立区の人口がとて多くなり、

田んぼや畑は住宅や工場に変わった。

ねん 1896年に、あだちく 足立区に
はじ 初めててつどう 鉄道が走り、
きたせんじゅ 北千住えき 駅ができた。

はじめは蒸気機関車が
走っていたらしい!



何度も洪水を起こしていた
荒川(今の隅田川)の水を
へらすために、荒川を作ったよ。

あらかわほうすいろ 荒川放水路をつくる工事は、
ねん 1913年にはじめられ、
または大正2年 1930年にかんせい 完成した。

めいじ 明治・たいしょうじだい 大正時代を代表するだいはう 文豪 ぶんごう 森 もり 鷗 おうがい 外 は、
ねん 1881年から1889年の間、
あだちく 足立区のせんじゅ 千住にす 住んでいた。

南足立郡の医者だったお父さんが、千住に病院を開いていたみたい。